

明晴学園幼稚部における バイリンガルろう教育

—経済と社会がわかる幼稚部活動—

明晴学園 幼稚部
赤堀 仁美

明晴学園が求める幼稚部の姿



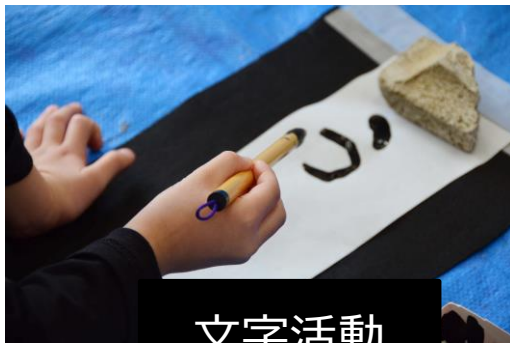
読み聞かせ



数学的思考のある遊び



体力づくり



文字活動



表現力



観察力

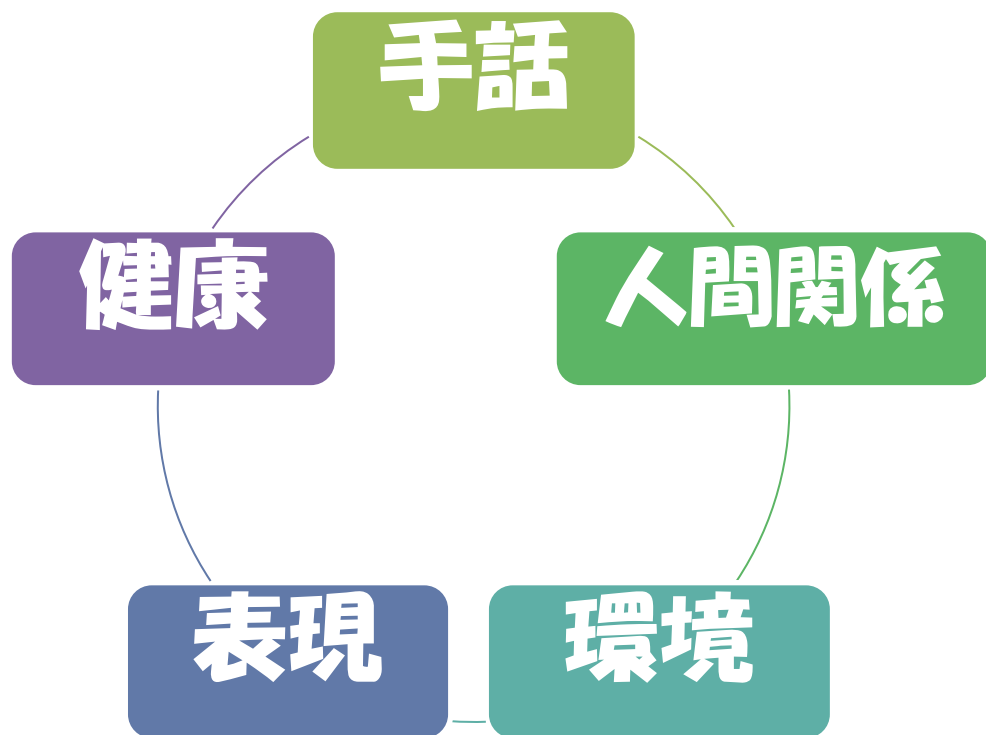


人間関係



年間指導計画 (2020年度)

月	テーマ
4月	休校
5月	むし
6月	どうぶつ
7月	からだ
8月	うみ
9月	かぞく
10月	のりもの
11月	げきあそび
12月	いえ
1月	でんとうあそび
2月	しごと
3月	はな



ねらい

- お金は労働の報酬として得られるということに気づかせる。
- 社会生活のなかでの仕事の内容やコミュニケーション方法を先生や保護者から聞いたり、話し合ったりする。
- 自分の物づくりの経験を通じ、遊びや生活のなかで、物を大切に作る気持ちをもって行動する。

2月の指導計画

※自由遊びは外遊びや仕事の準備など

	月	火	水	木	金
	1 図書の日	2 節分の日	3	4	5
午前	お面作り	お面作り	組み立て	運ぶ/建てる/ 切る (遊び)	運ぶ/建てる/ 切る (遊び)
午後	自由遊び	豆まき	自由遊び		
	8 図書の日	9	10	11	12
午前	仕事の絵本	宅配/郵便/仕 分け (遊び)	ケーキ/飴/ピ ザ (作る)	建国記念日	ケーキ/飴/ピ ザ (遊び)
午後	自由遊び				自由遊び
	15 図書の日	16	17 上映会	18	19
午前	仕事の絵本	やりたい仕事を 決める (計画)	上映会 (アニメ物語)	仕事の準備 (作る)	
午後	自由遊び ※仕事の準備と外遊び				
	22	23	24	25	26
午前	仕事の準備	天皇誕生日	客と働く人		客：小学部
午後	仕事の準備		仕事の準備		客：保護者

展開の特色

- 活動遊びの時間以外でも、遊びや生活の場を整えたり、つくり出したりすることが活発になる。
- 人への関心が広がり、学校で保護者が活動している様子や、地域で見聞したことなどをクラスの中かで共通の話題にすることができる。
- 物づくり活動の成果が、目に見える形で残るので、よい刺激となっている。

【第1週】

- ・ 豆まき・積み木の組み立て
- ・ 積む/建てる/切る
- ・ 運ぶ/作る/建てる

仕事体験を楽しむ



チームワーク

【第2週】

- ・ 宅配/郵便/仕分け
- ・ お店を作る (ケーキ/飴/ピザ)
- ・ お店ごっこ (ケーキ/飴/ピザ)

数や文字を知る



【第3週】

- やりたい仕事の計画をたてる
- 材料を買う
- 建てる

流れをつかむ



【第4週】

- ・ やりたい仕事の準備
- ・ 子どもがお客さんになる
- ・ 子どもが働く（お客は保護者・小学部）

交流
コミュニケーション



結果



1. 自分の物と他人の物の区別がわかるようになった。
2. ほしいものをすべて買うことができないことを知り、一番ほしいものは何かを考えたり友達と相談したりした。
3. 友達と一緒に「作る」「売る」ということを楽しんでいた。
4. 働いてお金がもらえることを知り、必要な材料を買うために働く姿が見られた。
5. 失敗から学ぶことができ、協力し合う姿勢が見られた。
6. 社会生活（家族や親の友人の仕事や絵本の中の仕事）を知るようになった。

まとめ

◆幼児が経験していること

- ・ 様々な仕事を知る。
- ・ 働くことでお金をもらう。
- ・ 貯めたお金を使って仕事に必要な材料を買う。
- ・ 相手の希望や要望を聞く。

◆環境構成

- ・ 必要な材料を買うことができるように数字や文字をわかりやすく表示する。

◆教師の援助

- ・ 手話の説明とともに、教師が行動で示したことが、幼児のモデルになっている。

◆経済と社会がわかるための視点

- ・ 「つくる」から「売る」までの流れつかむ。

月	2021年度テーマ
4月	むし
5月	からだ
6月	かぞく
7月	みず
8月	さかな
9月	のりもの
10月	どうぶつ
11月	たべもの
12月	いえ
1月	でんとうあそび
2月	しごと
3月	はな